

「ご当地検定」は「地域力」を高められるか  
～最近の動向と地域振興への展開可能性について～

図表2 「ご当地検定」の状況(2006年度に開始されたもの)

検 定 名	主 催 者	級	述べ実施回数	受験者数累計(人)	テキスト作成	セミナー実施	概要 (太字は特徴的な取り組み)
2006年度開始 50事例							
【総合型】 25事例							
函館歴史文化観光検定(はこだて検定)	函館商工会議所	初級	1回	907	○	○	函館の魅力をおもてなしの心を持って紹介できる人材を育成することが目的
十勝の観光文化検定(とちかち検定)	十勝の観光文化検定試験委員会	—	1回	276	○	○	帯広商工会議所が中核 十勝の魅力を見直し、地域全体のホスピタリティを高め、地域の歴史・文化の伝承などにも寄与していくことが目的
秋田ふるさと検定	秋田商工会議所	3級	1回	807	○	○	秋田の素晴らしさを再認識し専門的な知識を習得するとともに、「おもてなしの心」の向上に寄与することが目的
港まち気仙沼おもてなし検定	気仙沼市おもてなしのまちづくり推進協議会	—	1回	149	○	×	港まち気仙沼ならではの知識を深め、魅力を再認識し、「おもてなしの心」を持って、気仙沼の魅力を紹介できる人材の育成を目指す <b>フォローアップ研修への参加権付与</b>
盛岡もの識り検定	盛岡商工会議所	3級	1回	223	×	○	「もっと盛岡を知りたい」「もてなしの心を高めたい」といった声を実現するために実施
米沢観光文化検定	米沢商工会議所・米沢市 他	—	1回	343	○	×	市民全体が観光客を迎え入れられるよう知識や対応の底上げを図ることが目的
房総(千葉)学検定	NPO法人ふるさと文化研究会	3級	1回	—	○	○	千葉県の多様な魅力と価値を幅広く認識すると共に、地域の再生と活性化に貢献する人材を育成・発見することが目的
足利ふるさと検定	足利商工会議所	3級	1回	289	○	×	足利の魅力を見直しするとともに、観光客を「おもてなしの心」をもって迎える人材育成が目的
かながわ検定：横浜ライセンス	かながわ検定協議会	2級・3級	2回	2,635	○	○	横浜商工会議所・テレビ神奈川・神奈川新聞社が中核 神奈川、横浜を学ぶ機会の提供、観光振興への寄与とともに、その魅力を国内外に発信することを旨とする
まるごと浜松検定	静岡新聞社、静岡放送、びびれ浜松	1級～3級	3回	3,803	×	×	合併浜松市が1周年を迎える事を記念して、浜松知識度を認定する検定試験を実施 <b>3級は新聞紙面検定、1級・2級は、会場検定</b>
新潟市観光・文化検定	新潟市観光・文化検定実行委員会	3級	1回	2,707	○	○	新潟商工会議所、新潟観光コンベンション協会、新潟日報社が中核 新潟市の魅力をしっかりと伝えることで新潟ファンの拡大につなげることを目的
すわかおもてなしアカデミー検定	諏訪湖エリアおもてなし向上推進会議	講師・マイスターコース	3回	—	○	○	岡谷、下諏訪、諏訪商工会議所が中核 諏訪湖エリアに住む多くの住民が諏訪の観光資源を再認識し、誘客増大に結び付けることが目的 <b>おもてなし講座は、講義とテストがセット</b>
松本検定	松本検定実行委員会(松本市)	基本コース	1回	718	○	×	質の高いおもてなしを提供する人材育成と松本の良さを再発見していただく場となることを目的
検定お伊勢さん	伊勢商工会議所	中級～上級	2回	1,495	○	×	伊勢の人々に一層のおもてなしの心を高めてもらい、伊勢のまちの魅力を発信することが目的
長岡京市観光・歴史検定	「長岡京市観光・歴史検定」実行委員会	—	1回	—	×	×	長岡京市観光協会、長岡京市ふるさとガイドの会が中核、名所・旧跡に関する知識を深めて、より質の高いおもてなしの心で魅力を発信していただくことが目的
奈良まほろばソムリエ検定	奈良商工会議所	奈良通2級	1回	3,544	○	○	奈良を理解していただく一方、奈良の素晴らしさを伝えることのできる人材の育成が目的
いたみ学検定試験(清酒検定)	伊丹商工会議所・伊丹市	—	1回	135	○	○	伊丹を再発見していただき、伊丹の魅力を広く知らせるナビゲーターを認定する検定
六甲・まや学検定	六甲摩耶観光推進協議会	2級・3級	1回	235	○	×	六甲と摩耶の魅力を見直し、再認識し、より深いおもてなしを実践できるようになることが目的
淡路おのころ島検定	NPO法人地域検定	—	1回	—	×	×	Web試験 NPO法人地域検定が、「淡路通」や淡路島の発展に寄与できる人材の育成を目指して実施
大社文化観光検定	大社文化観光試験実行委員会 他	一般・ジュニア	2回	237	○	○	出雲大社の歴史・文化・神話を学ぶこと、また、おもてなしの心を高めることが目的
唐津・呼子イカ検定	唐津・呼子イカ検定委員会	—	1回	329	○	○	産・観光振興や交流による学習、ホスピタリティを高めることなどが目的
佐世保検定	佐世保青年会議所	—	2回	170	×	○	佐世保について学び、郷土の知識を学び伝えることの出来る人材の育成と郷土愛のある市民を増やし、まちづくりにつなげることを目的
佐世保子ども検定	佐世保青年会議所	—	2回	21	×	○	佐世保について学び、郷土の知識を学び伝えることの出来る人材の育成と郷土愛のある市民を増やし、まちづくりにつなげることを目的
熊本観光・文化検定	熊本商工会議所	3級	1回	2,523	○	○	熊本の知識を深め、熊本を再発見する機会を創出すること「おもてなしの心」を持つことが目的
かごしま検定(鹿児島観光・文化検定)	鹿児島商工会議所	マスター・シニア・マスター	1回	3,976	○	○	鹿児島への関心を持っていただき、鹿児島ファンを増やすことが目的 <b>合格者に県内観光施設等の入場料減免 鹿児島市の観光施策への関与</b>

出典：図表1と同じ

うことも多く、前述の「ナマハゲ伝導士認定」のほかにも「明石・タコ検定(2005年度 図表1)」、「境港妖怪検定(2006年度 図表2)」など、続々と工夫された切り口があらわれている。実施内容も合格者への資格付与やフォローアップよりも事前学習、試験が中心のものが多く(もちろん「萩ものしり検定(2005年度 図表1)」のように合格者に対しフォローアップの講演会や茶話会を行うことでネットワーク化を図ろうとしている検定もある)。

また、この類型は、経済団体やマスコミのほかにも地元高校(「ふるさと小松検定(2005年度 図表1)」、地域づくりグループ(「宇和島「通」歴史・文化検定(2005年度 図表1)」、TMO(「明石・タコ検定(2005年度図表1)」)など多様な主体が実施しているケースが多いことも特徴となっており、このタイプが「ご当地検定」の多様な性格を支えているともいえよう。